

「地域密着型金融推進計画」(平成20年度)の取組み

平成17～18年度の「地域密着型金融推進計画」に引き続き平成19年度から「地域密着型金融推進計画」を新たに策定し取組んでまいりました。平成20年度も、地域金融機関として地域発展のため推進してまいります。

当金庫が目指す姿とは、『地域に親しまれ、信頼され、お役に立つ、地域とともに発展する信用金庫』であります。

少子高齢化・過疎化が進む当地方にあって、景況は公共工事の大幅な削減をはじめとして大型店の進出もあり、地域の経済環境は後退傾向にあると思われます。このような環境の中、地域に住む人々をはじめ、経済活動に携わるお客様への取組み・支援こそが私達の仕事であり使命であると考えております。

平成20年度についても「地域密着型金融推進計画」では、「目指す姿に向けての、当金庫が展開する主なビジネスモデル チャート」をベースに、下記の項目について取組み、地域貢献に向けたさらなる努力を実施してまいります。

1．ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

2．事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

3．地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

目指す姿に向けての、当金庫が展開する主なビジネスモデル チャート

